

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1086	(H.26)No.	1086
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ごみゼロ・リサイクル推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
生活環境部	環境対策室	藤野 泰司	

会計区分	事業コード	271501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	衛生費	ごみゼロ・リサイクル推進事業
項	清掃費	(小事業名)
目	ごみ対策費	ごみゼロ・リサイクル推進事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	2	循環型社会の創造
	施 策	2	ごみの減量化とリサイクル
	小 施策	1	ごみの減量化
重点施策コード	4-1.資源循環型社会の構築(廃棄物の減量・資源化の推進)		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
環境と共生する資源循環型社会を目指し、ごみの発生抑制、減量化、資源化の促進に向けた啓発等を実施することにより、ごみゼロ社会を構築します。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づくごみの分別、減量化に向けた啓発の実施 ごみ分別ガイドブックの作成や外国人向け日程表の作成 紙おむつ専用ごみ袋の購入とボランティア専用ごみ袋の作成、配布 草木類のリサイクル事業の委託

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 外国語日程表翻訳 203千円 ごみ減量啓発品等購入 105千円 紙おむつ専用袋購入(20L袋 275,000枚) 6,050千円 せん定枝粉碎機購入 55千円 3Rポスター応募報償 22千円 作業傷害保険料 16千円 草木類資源化委託 3,261千円 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語日程表翻訳 214千円 ごみ減量啓発品等購入 126千円 紙おむつ専用袋購入(20L袋 275,000枚) 6,490千円 3Rポスター応募報償 22千円 ガイドブック印刷 121千円 草木類資源化委託 3,180千円 せん定枝粉碎処理車修繕 330千円 ボランティア袋作成 338千円 せん定枝粉碎機購入 36千円

H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別啓発 外国語版日程表翻訳 紙おむつ専用袋等購入 ボランティア袋作成 資源化推進委託料 など 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別啓発 外国語版日程表翻訳 紙おむつ専用袋等購入 ボランティア袋作成 資源化推進委託料 など 	<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別啓発 外国語版日程表翻訳 紙おむつ専用袋等購入 ボランティア袋作成 資源化推進委託料 など

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	9,712千円	10,897千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(繰入金)	2,921	3,548			
一般財源	(0) 6,791	7,349	10,000	10,000	10,000
人工数					
職員	0.90人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人
臨時職員等	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人	0.25人
②概算人件費	(0千円) 7,175千円	7,925千円	7,925千円	7,925千円	7,925千円
①+②総事業費	(0千円) 16,887千円	18,822千円	17,925千円	17,925千円	17,925千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが必要な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
アクションプログラムに基づきごみの減量、資源化を進め、平成25年10月の指定ごみ袋価格の引下後も、リバウンドもなくごみの減量効果を継続することができました。	家庭系ごみ排出量は、県内で最小レベルですが、引続き3Rを推進し、ごみ減量の啓発を行います。また、草木類リサイクル事業を継続して進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	ごみの減量に成果を上げるとともに、学校、地域等に出向いて環境学習会等によるごみ減量化、資源化の啓発を行っています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載)	地域づくり組織、学校、市民活動団体とごみや環境の対策について連携を図っています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由 紙おむつ専用袋は、家庭ごみ有料化に伴う減免措置として導入しましたが、現在では介護支援、子育て支援対策の要素が高まり、事業の目的が異なっているため、所掌事務の見直しが急務となっています。	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム、なばり快適環境プラン